



志手原っ子

冬休みに向けて

12月下旬になり、寒さが一層厳しくなりました。子どもたちが楽しみにしている冬休みが間もなく始まります。今回の冬休みは17日間です。年末年始での新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、3年続きでコロナ禍での冬休みとなります。感染予防に努めると共に生活のリズムを乱すことなく体調を維持し、良き新年・充実した3学期が迎えられるように、家庭生活でのご支援をお願いします。年末年始は1年間の区切りとなる時期です。ご家族で1年間を振り返り、より充実した2023年を迎えられるように、ご協力をお願いいたします。

冬休みに特にご配慮いただきたいことを、いくつかお示しいたします。

《スマートフォン・インターネットの利用等について》

インターネットやスマートフォンの利用に際し、写真等の個人情報掲載や流失やSNS利用時のトラブル等が大きな問題となっています。お子様を守る為にも、使用時間を含めた家庭でのルールづくりをお願いします。また、タブレットを持ち帰りますので、それをういて積極的に学習させてください。ただ、使用に際しては落下等による破損には十分気をつけるようお願いいたします。

《規則正しい生活について》

新しい年を迎え、心身共に良い状態で3学期をスタートしたいものです。しかし、年末年始は生活リズムが乱れがちになります。そこで「早寝・早起き」に留意し、過食・偏食・欠食がないようにしてください。また、縄跳び等適度な運動をすることで、体力維持にも努めさせてください。

《事件・事故防止について》

年末年始は外出の機会が多くなるかもしれません。その際は極力一人での外出を避け、ご家族など複数での行動をとらせてください。自転車事故が多くなっています。自転車に乗る時は交通ルールを遵守し、交通事故を未然に防ぐようにさせてください。また、道路横断時の交通事故も多数報告されています。道路を横断する時は、必ず横断歩道を横断するようにさせてください。

《新型コロナウイルス感染予防について》

冬休み期間中も新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されています。普段から気を緩めることなく、手洗いの励行、手指消毒、密閉・密集・密接を避ける等今まで通りの感染予防に努めさせてください。

人の長所を見る

「～長所ばかりを見て、短所を全く見ないということではいけないかもしれない。だから適当に短所を見つつ、主として長所を見るということがいいのではないか。～」これは、松下電器産業（現パナソニック）の創設者である松下幸之助が語った言葉の一節です。つまり、人の長所を見ることの大切さを言わんとしています。「あゆみ」を見たり1年間を振り返ったりすると、つい、できないことや苦手なことに目がいってしまいがちです。短所を修正することも大切ですが、「がんばったこと」や「できたこと」に目を向けて、それを大いに褒めることが大切かと思えます。それにより、苦手なことを克服しようという気持ちが引き出されるのではないのでしょうか。お子様の長所をたくさん見つけ出していただき、それをお子様に直接伝えていただくと、うれしく思います。

この1年、大変お世話になりました。来るべき2023年が保護者の皆様・地域の皆様にとって素晴らしい1年であることを願っております。どうぞ良いお年をお迎えください。